

議員とカダる会（議会報告会・意見交換会）報告書

開催日時	平成28年5月22日（日） 13時30分～15時30分								
開催場所	荒川市民センター 2階会議室（A）								
会場責任者	中村 節雄、中田 靖人								
記録者	木下 靖、奈良 祥孝								
出席議員	中村 節雄、中田 靖人、渡部 伸広、木下 靖、橋本 尚美、 天内 慎也、館田瑠美子、山本 武朝、小倉 尚裕、斎藤 憲雄、 長谷川章悦、渋谷 勲、奈良 祥孝、村川みどり、花田 明仁								
参加者数	23人（全参加者数39人）								
報告内容	アウガ、青森駅、庁舎整備について								
意見交換内容 （意見の要旨）	<p>自由意見交換（青森市のまちづくりについて）</p> <p>1. 青森市のうまちづくりについて「誇りに思うこと」「残念に思うこと」は何ですか？</p> <p>（1） 誇りに思うこと</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">自然</td> <td>自然が豊か（5件） 四季がはっきりしている（3件） 水がおいしい（6件） 八甲田（2件） 気候がいい（1件） 災害が少ない（1件） 空が広い（1件）</td> </tr> <tr> <td>食</td> <td>山・海の幸（魚・山菜、りんご）が豊富でおいしい（7件） 日本酒（1件）</td> </tr> <tr> <td>文化</td> <td>ねぶた祭り（3件） 三内丸山（1件） 遺跡が多い（1件） 棟方志功（1件） 寺山修司（1件） 阿部合成（1件） 常田健（1件） 郷土芸能がある（1件）</td> </tr> <tr> <td>気質</td> <td>外からの流入を受け入れる風土（1件） 伝統を重んずる（1件） 人に優しい（1件）</td> </tr> </table>	自然	自然が豊か（5件） 四季がはっきりしている（3件） 水がおいしい（6件） 八甲田（2件） 気候がいい（1件） 災害が少ない（1件） 空が広い（1件）	食	山・海の幸（魚・山菜、りんご）が豊富でおいしい（7件） 日本酒（1件）	文化	ねぶた祭り（3件） 三内丸山（1件） 遺跡が多い（1件） 棟方志功（1件） 寺山修司（1件） 阿部合成（1件） 常田健（1件） 郷土芸能がある（1件）	気質	外からの流入を受け入れる風土（1件） 伝統を重んずる（1件） 人に優しい（1件）
自然	自然が豊か（5件） 四季がはっきりしている（3件） 水がおいしい（6件） 八甲田（2件） 気候がいい（1件） 災害が少ない（1件） 空が広い（1件）								
食	山・海の幸（魚・山菜、りんご）が豊富でおいしい（7件） 日本酒（1件）								
文化	ねぶた祭り（3件） 三内丸山（1件） 遺跡が多い（1件） 棟方志功（1件） 寺山修司（1件） 阿部合成（1件） 常田健（1件） 郷土芸能がある（1件）								
気質	外からの流入を受け入れる風土（1件） 伝統を重んずる（1件） 人に優しい（1件）								

	人情（1件）
施策	海を活かしたまちづくり計画がある（1件）
施設	セントラルパーク（1件） 大学があり若い人のエネルギーを感じる（1件） 図書館の本の数が他県に比べて多い（1件）
その他	雪以外は住みやすい（1件） 青少年健全（1件） 近所との関わりが濃い（1年） 都会と違って通勤時間が短い＝生活の豊かさ（1件） 地域・町内のイベントが多い（1件） 今の市政に対して残念ながら何もありません（1件）
<p>（2） 残念に思うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 観光客が増えてきているが引っ込み思案 ◆ 積極的に会話ができるよう学ぶ場所が欲しい ◆ 新青森駅と青森駅をつなげる魅力がない ◆ 駅前の第三新興街が景観を損ねている ◆ 若者が楽しめる場所（能力を活かす）場所が少ない ◆ 財政が厳しい中でのみまちづくりをしなければならぬこと ◆ アウガの説明が具体的でない（図示したり市民の声を多く語ってほしい） ◆ アウガに行ったとき地下の魚屋さんのおいが強烈に鼻についた ◆ 市長の政策の基本が二転三転。議会との双方の健全な歩み寄りの姿が見えてこない。よって市民にとって何をしようとしているのかわからない。 ◆ 経済団体の横やりが問題 ◆ 土着性が薄い ◆ 決断できない ◆ 弘前・八戸に比べ青森市の先が見えない。二市に10年以上遅れている。 ◆ 市長の判断力欠如、コロコロ変わる。 ◆ 人の足を引っ張る ◆ 雪が多い ◆ 大腸がんワーストワン ◆ 流融雪溝を強化すると県外から人が来る ◆ 新町駐車場が少ないのに活性化は恥ずかしい ◆ 緑が少ない ◆ ゴミ ◆ 県庁をとったら何も無い 	

	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 将来が見えない、はっきりしない、不安。 ◆ 高齢者の交通機関不備 ◆ 青森駅へ高齢者近づき難い（タクシー・自家用車の乗り入れ不可） ◆ 議会が堂々巡りしている ◆ 市のアピールが下手 ◆ 大事な事業の判断が遅い（市長は市の経営者、社長である） ◆ 広い駐車場が欲しい ◆ 道路事情があまり良いとは思えない ◆ 住宅地は意外に暗い ◆ 地元の持ち物を増す ◆ 人口減少 ◆ 健康寿命が短い ◆ 宣伝広告が下手 ◆ 八戸・弘前に比べて元気（活気）がない ◆ 散歩道がない ◆ いい飲み屋街がない ◆ 産業 ◆ コンパクトシティ ◆ まちづくりは官主導ではなく民主導で ◆ 青森市のまちづくりは30年先の絵を描き切れているか ◆ 決断のなさで停滞している ◆ キッチリとした総括がされていない ◆ ねぶたがねぶたらしくない ◆ 県外流出が止まらない若者たち ◆ 雪かき ◆ 大きい産業、雇用してくれる工場が少ない ◆ 東京の企業関連施設が多く青森に金が落ちない ◆ 次々に変更する事項があるのは残念 ◆ もう少しに詰めて計画を提出してほしい。市長の真意がわからない。 ◆ 国からの交付金を当てにする事業は飽くまでも借金であり要注意。 ◆ 金利が高い ◆ 生産・製造企業が欲しいがほとんどない、残念 ◆ 中央との格差が多々あり（教育・文化・人材） ◆ 少子高齢化が加速 ◆ 所得が低い ◆ 転出が多い ◆ 短命 ◆ 駅の駐車場ない
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 赤字国債廃止 ◆ 市民税が多すぎる ◆ 認印を全面廃止 ◆ 県外へのPRが不足 ◆ まちづくりが下手 ◆ 自己主張が足りない ◆ スポーツ振興 ◆ 街路樹 ◆ 公園等の整備 ◆ 近所のかかわりが薄い ◆ 当初のまちづくりに一方的なものが感じられる ◆ 商業的にドーナツ化してしまった ◆ 県との連携 ◆ トップの決断力のなさ
	<p>2. 青森市のまちづくりについて貴方は、どうありたいですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 分かりやすいバス路線表をつくってほしい ◆ 緑のバランス。公園・街路樹 ◆ 人と人の関わり、町内の関わりが少ない。 ◆ 現状に不満あっても表現しようとならない ◆ 青森県は今のままでいい ◆ ねぶたん号をもっと市民に知らせること ◆ 公園の手入れをして青い森の雰囲気や街の中にも ◆ バスについてどのようにして移動するのか心配だ ◆ もっと具体的に図示したり、親切に整えてほしい ◆ 駅は他県の人からの不満が多い（新青森も青森も） ◆ 利用者のことをよく考えてほしい。予算の具体的な使い方をお願いする ◆ 市民中心、即ち行政に対し単に要求するだけでなく、まず市民一人一人が何ができるかという理念が必要（優先） ◆ 向こう三軒両隣の互助の精神 ◆ 足の引っ張り合いのないまち ◆ たくさんの若者がいる ◆ いつまでも安全・安心で住める街でありますよう（子どもも大人も） ◆ コミュニティーの行き届いたまち。町内活動の強化に共助のまちづくり ◆ 子どもたちの輝けるまち。特にスポーツ振興、人材育成

	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 観光資源を活用する。春夏秋冬の季節感を活かすこと ◆ 住民の声をよく聞く（行政） 議員も ◆ 働く場所を拡大する・・・事業所 ◆ 誰もが安心して働く事業所 ◆ 障害者、健常者の差のないまちづくり ◆ 若者が楽しめる街づくり（コンサート、学べる場、主張できる場など） ◆ おもてなしの街 外人客が増えて少なくとも接客用語が言えるようになりたい ◆ 新町の空き店舗がなくなり活気が出てくるまちづくり ◆ バスの民間への移譲、民間の自家用車をバス用にしたら？→交通政策の一つ ◆ 雪に対するエネルギー化 雪の利用→水にしてしまう方法 ◆ 街が東京の資本に動かされてしまっている感がある。地元資本の企業等が必要 ◆ 議会活動が見えない（話し合いの混乱）街だと思ふ ◆ 街のことで話し合う機会が少ない ◆ 市民がわかるように具体的な活動を知り得る街が良い ◆ 市の思い切った決断と実行力 ◆ 30年後のまちづくりの絵を描いてみる（今の10年計画は面白くない） ◆ 自分としていろいろな提案を文章をもって示したい ◆ コミュニティーからの押し上げ 中高の教育→地元教育と発言を中心とした ◆ きれいなまちにするためにボランティア等を積極的に行いたい ◆ 市民の声を多く聞いていきたい ◆ 雪対策を考えてほしい ◆ 活性化は仕事場を増やす ◆ 市営バスを廃止し路面電車を導入することで街が一変する ◆ 市役所の部局、市民の来庁で一緒になくていい ◆ 市役所「身の程」の庁舎 ◆ 高齢者と共に若者（雇用・産業・観光）にとって魅力あるまちづくり 子育て支援はまちづくりの重要な点です ◆ バス停、駅の環境整備を ◆ 議会、市、詳しくわかるように ◆ 事業実施が遅い。スピーディーに ◆ 水族館をアスパムの裏に持ってくる。新設したら ◆ 18歳から投票 ◆ 市全体道路等修理スピーディーに ◆ 街路樹の陰影を活かしたまちに
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 駅舎は現状でいい ◆ 郊外に緑あるが、青い森の雰囲気をつくって ◆ 市役所は分割でもよい ◆ 新町・駅前開発するのであれば、でかい駐車場をつくること ◆ 関わり足りない ◆ 自ら情報提供する ◆ アンテナを張って問題意識を持ち声に出す。行動する ◆ まちづくりに参画する ◆ ICTの活用で利便性UP ◆ 現場の声を受け止めて行政に届ける ◆ 矛盾を放っておかない ◆ 孤立する人がいないよう見守る。アナウンスする ◆ 高齢化社会を見据えて行政サービス ◆ 柳町、県庁駐車場（地下）を一体化して日本ではないような商店街 ◆ これまでも現在もコンパクトシティということで力を入れつつもこのおかげで旧来の各町会は死んでいる。大失敗 ◆ 都会のようなまちづくりは必要ないが、青森駅周辺整備などやるべきことはやらないといけない ◆ 新幹線効果が十分受けられるまちづくりを期待する ◆ 中心市街地駐車場問題！無料じゃないと行かない ◆ 庁舎 なるべく規模縮小 ◆ アウガ なるべく庁舎機能 ◆ 駅 着工はいいが内容の精査必要 ◆ セントラルパーク 早期利活用を発表 ◆ 緑や花の優しさが欲しい。すてきな青森駅にしてください。予算内で工夫を。 ◆ もっと安上がりな方法はないか ◆ 新町の歩行者天国を毎日曜日に ◆ まちづくりはまず人づくりでなくては！ ◆ 子ども、弱者、高齢者に優しいまち。その上でのものづくり ◆ 緑の多い市に ◆ 中心部に大きな公園（青い森） ◆ リンゴの種類、食べ方別のPR ◆ 今の子どもたちにどんな青森市を残したいかを考えたい ◆ 将来を見据えた長期展望 人（老人、子ども）に優しい
	<p>3. ありたいまちづくりを実現するために、貴方がすべきこと、議会がすべきことは何でしょうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ まちづくりのために町の歴史を勉強した→交通体系の見直し→整

	<p>備内容の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 市街化調整区域がまちづくりのネック（これを見直すことがまちづくり） ◆ 議会をみんなで聴きに行こう ◆ 市民意見を聞いて議員は質問すべき ◆ 自分の意見を大いに出す ◆ 議会は市民の意見を聴く機会をできるだけ多く設ける ◆ まちづくりは新町通りだけ優先させる必要なし ◆ 振込口座をつくる ◆ 認印の全面廃止 ◆ 赤字国債を無くす ◆ 新町商店街重視の考え方は変更した方が良い ◆ 地下駐車場の無料化 ◆ もう少し町の動きを話し合う場所が欲しい。その話し合いに参加し、徐々に自分のすべきことがわかってくるのではないか ◆ 1年1回、目玉事業をすべきでないか。議会でも集中的に議論したら。 ◆ 議会の不思議 なぜ議員で意見が違うのか？もっと接点を見つけたら。 議員定数はこれでいいか？ 市役所の職員は適正か？ ◆ まず自分ができることからする 「選択と集中」に対する英断 ◆ 市民と行政垣根なく！ 行政の壁が厚くとも根気よく働きかけ、反映するまで訴え続ける 市民の役に立つ情報をもっと提供 市民自らが賢くなる ◆ 行政が市民の要求するサービスをすべて完遂することは困難である。可能な限り住民ができることを実行し、行政費用の節約に努めるべし。議員と地域住民とのコンセンサスの充実に積極的になるべし。 ◆ 将来を見据えたまちづくり 市民－議会 双方向の情報交換と情報共有の速度 ◆ 市民の声を吸い上げ理事者側に提言していく ◆ 行政がもっと地域住民に説明すべきである。 押し付けるところが多い。話し合いの過程で自分が何をやれるか見いだせるはず。 ◆ 議会をもっと行政を監視すべきである ◆ 自らの声を議員と話し合う。議員は実態を知ること ◆ 行政と議員が今何をすべきか検討して行動すること
--	--

- ◆ 行政は職員教育をする
市民が安心できる行政にする
- ◆ 若い人・女性など参加させるために祭りを楽しく
町会は金を出すが若い女性に計画運営させていく→市政にも生かして欲しい
- ◆ 夏休み 夜間の防犯活動50人位参加
ごみ収集所→町会役員と市民（町会の）交流・育成をしていく
- ◆ 「健康寿命」戦略と戦術がない
- ◆ 防災活動を実施している
- ◆ やはぎ町会 年10回のまつりを実施。若い人を巻き込むコミュニケーションを図る
- ◆ 議会へ 情報収集と分析をせよ
- ◆ ロコモ体操も実施→人も見よ！
- ◆ 人の輪の大切さ
- ◆ 居住地域の歴史的特性を知りまちづくりに反映すること
- ◆ 市民意見を反映した政策形成が必要（ただし市民意見は多様）
- ◆ 家庭に話題を持っていき、結果はなくても会話をする。意識を持っていただく
- ◆ まずはご近所から町内の活動をする。またはしていただく
- ◆ 議員さんをお願い。若者が参加したい若者主権の「カダる会」を開催してほしい
- ◆ 自分のため市会議員さんは何ができるのでしょうか。抽象的なことでいいのでしょうか
- ◆ 議会と議員さんは違うので質問に答えていませんが
- ◆ 語る会をもっともっと多く持ち、市民の声を取り上げて
- ◆ 青森らしい青森！皆さんが参加する楽しい青森を希望します
- ◆ 様々な課題を乗り越えていくこと
- ◆ カダる会のような市民との対話をもっととっていくべきだ。膝を交えて
- ◆ 議会での活動をもっと積極的に報告するべき
- ◆ 行政や町内会等の行事に進んで参加すること
- ◆ 市民は広報あるいは議会を重視し市発展のため進めること
- ◆ 政策形成を進め具現化を図っていただきたい
- ◆ 住みやすい
- ◆ 農業を育てる
- ◆ ファンドをつくる
- ◆ 大学生奨学金の無料化→5年働いたら返さなくていい
- ◆ 市長と議会がもっと対話してください
- ◆ 地元に関わる教育の充実
- ◆ 何でも出します（文章で出します）

	<p>良いことはその意見を取り上げてほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 農業県としての誇り 食糧基地としていろんな手段で予算獲得
記録者所見	<p>青森会場においては議会報告後まもなく、ワールドカフェ形式での実施に「こういうやり方だとは知らなかった。もっと議員と意見交換する場が欲しい」という要望が出されたが、「今回は事前にチラシで周知している通り、ワールドカフェ形式で行う。今後のやり方については検討したい」ということで委員長が何とか納めた。</p> <p>ワールドカフェ形式による意見交換は概ね好評であったが、「意見を言いたい市民、声を聴いてほしい市民」にとっては不満が残るだろう。委員会としてこの点を話し合っていく必要がある。</p> <p>設問について「青森のまちづくりにおいて<u>自分はどうありたいか</u>」というのは、やはり分かりにくいと感じた。議会報告会の在り方はまだまだ試行錯誤が必要かもしれない。</p>

※写真添付必須のこと

青森市議会議長 様

平成28年7月29日

上記の通り報告いたします。

会場責任者 中村 節雄

中田 靖人

出席議員 渡部 伸広

木下 靖

橋本 尚美

天内 慎也

舘田 瑠美子

山本 武朝

小倉 尚裕

斎藤 憲雄

長谷川章悦

渋谷 勲

奈良 祥孝

村川みどり

花田 明仁







